

藪浦外務大臣政務官挨拶

【冒頭挨拶】

- 本日は、お忙しいところロンドンにおけるジャパン・ハウス運営委員会第1回会合にご出席いただいたことに感謝。本日お集まりいただいた皆様が、ジャパン・ハウスの趣旨に賛同し、運営委員としてご協力いただけることにお礼申し上げます。
- 私は、ジャパン・ハウス担当の外務大臣政務官として、昨年から今年にかけて、ロンドンを含むジャパン・ハウス創設予定の3都市全てを訪れる等、この構想には当初より密接に関与してきた。ジャパン・ハウス創設に向けた取組が進展し、本日、運営委員会の第1回会合が開催されることとなり、ロンドンにおけるジャパン・ハウス事業が本格的に始動したことを大変嬉しく思う。
- ジャパン・ハウスは、知日派・親日派の裾野を一層拡大することを目的とした日本の新たな発信拠点として、日本に関する様々な情報がまとめて入手できるワンストップサービスを提供し、民間の活力や地方の魅力なども積極的に活用したオールジャパンでの発信を行うと共に、現地のニーズにきめ細かく対応し、現地の人々の共感を呼ぶよう工夫した取り組みを行っていくことになる。
- 日本国内においては、政務レベル及び事務レベルでの省庁間の連携を高めると共に、総合プロデューサー及び有識者から助言を得ることを目的とした枠組みを構築した。
- また、各都市に設置される**運営委員会**は、受託企業によるジャパン・ハウス事業運営を監督、指導する機関である。ジャパン・ハウスの成功のためには、現地のニーズを反映した事業を実施していくことが不可欠であることから、こういった行事、イベントがロンドンでは関心を引くか、運営委員の皆様の見解が必要。本日いただいたご意見は、受託企業に必ず伝達し可能な限り事業に反映していく。是非積極的にご意見を頂戴していきたい。
本運営委員会は、ロンドンにおけるジャパン・ハウスを運営していく上で、極めて重要な機関であり、皆様がジャパン・ハウスを盛り上げていただきたい。

【閉会挨拶】

- 本日は、お忙しいところご出席いただき誠に感謝。ジャパン・ハウスの今後に向け、皆様から様々なご意見いただくことが出来、非常に有意義な時間となった。運営委員会は四半期に一度の開催となるが、今後も建設的な意見をいただきつつ、ロンドンのジャパン・ハウスの効果的運営が確保されるよう、ご協力いただければ幸い。